



12/22日 23月祝

仙台駅前「アエル」にミュージアムが出現!

こども☆ひかり Museum Street ミュージアムストリート



昨年より、東北の若者たち(ユースボランティア)が将来こどもたちや地域社会の笑顔を生み出す核として育てていくことをめざすプロジェクトを本格的に始動しました!



ユースの大学生たちはフェスティバルへの参加、研修会などを経て、全国のミュージアムの協力のもと、イベントを開催し、東北のこどもたちをおもてなしすることができました。



たくさんのこども達の元気な姿に触れて、一緒に楽しみました。東北大学3年生 嘉山 央基

こども☆ひかりプロジェクト ニュースレター



2013年度もご支援、ありがとうございました!

2013年度は、東北ユースチャレンジプログラムがスタートしました。また、全国のミュージアムからたくさんの、マツボックリやどんぐりなどを集めていただき、福島のこどもたちにお届けすることができました。そして、12月に福岡市で開催された「AZEC」(アジア動物園教育者会議)での発表では、ミュージアムでキッズもユースも大人たちもわくわくドキドキを感じ、楽しめるということを世界中に発信できたのではないかと思います。これからもこども☆ひかりプロジェクトは小さなひかりが集まって大きな光になっていきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

こども☆ひかりプロジェクト 代表 清水文美

ひとくち 500円

2013年にひきつづき ご支援をお待ちしております!

お友だちやクラブ・セミナーなどでのご紹介をお願いします★最新のパンフレットや振込用紙はご連絡いただけたらお送りいたします。

ご協力よろしくお願ひ致します!!

<http://www.kodomohikari.com>

ゆうちょ銀行
〈記号番号〉
00980-1-195311
〈店名・種目・口座番号〉
〇九九(店番099)・当座・0195311
〈名義〉
こどもひかりプロジェクト応援基金



こども☆ひかりプロジェクト ニュースレター 【制作】こども☆ひかりプロジェクト しんぶん部

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目 兵庫県立人と自然の博物館内 こどもひかりプロジェクト事務局
TEL:090-9119-2005(清水) E-mail: amk@kodomohikari.com URL: <http://www.kodomohikari.com>

福島のみんなへ、まつぼっくりを!



福島県の学校などでは、自然の工作材料を調達することが難しい状況です。そこで、全国のミュージアムなどが拠点となってまつぼっくりやどんぐりを集め、必要な施設へプレゼントするプログラムをスタートしました! ※まつぼっくりやどんぐりなどは熱処理をしてから送っています。



福島県田村市立古道小学校ではリースづくりの材料になりました!



こども☆ひかり フェスティバル

inせんだい

仙台市農業園芸センター
2013年6月8日



inふくしま

福島市子どもの夢を育む施設
こむこむ館
2013年6月9日

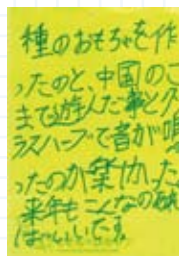


inいわて

岩手県立博物館
2013年6月29-30日

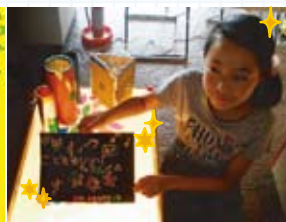


今回は仙台・福島に加えて岩手のこどもたちの元へ行ってきました!仙台では津波の被害で取り壊しが決まっていた仙台市農業園芸センターで開催。市街地にもかかわらずたくさんのこどもたちで賑わいました。そしてスタッフには東北の大学生たちが加わりパワーアップ!こどもたちの笑顔がキラキラと輝くフェスタになりました。

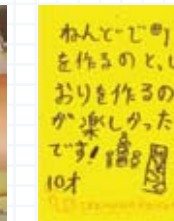
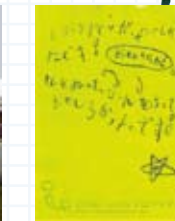
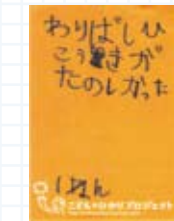
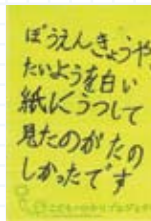
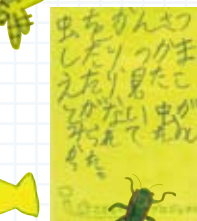
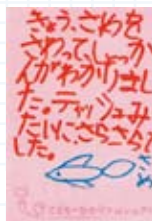
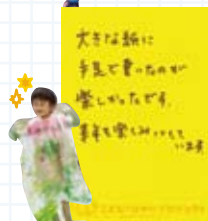
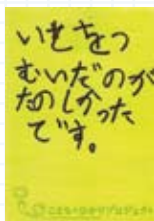


こども達に教えるだけでなく、
教えられることもとても多くて、
非常に刺激的な体験でした。

早稲田大学1年生
池内 至誠



写真とコメント、イラストはそれぞれ異なるこども達のものです。



それゆけ!
キャラバン隊

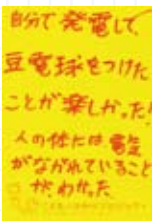
inいたて村文化祭

2013年10月26-27日



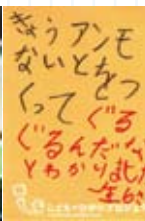
「フェスティバルの一部を、
地域の施設へ」

福島県相馬郡飯館村は現在も避難区域に指定されており、村の人々は県内の仮設住宅や他県で暮らしています。年に一度の文化祭は、離ればなれになった人々が集う特別なひとときです。手芸や工作作品の展示、小学生の合唱など手作りの催しで賑わう中、キャラバン隊のコーナーでは人体に流れる電気でロボットを動かしたり、昆虫にふれたり大賑わい。大学生スタッフも大活躍していました。



最初は緊張して
ママの背中に隠れているこども達も
アンモナイトのレプリカが
完成するにつれて笑顔になっていく姿が
嬉しかったです。

桜の聖母短期大学
高野 理子



活動をアピール
してきました!



2013年12月に福岡県で開催されたAZEC(アジア動物園教育者会議)での国際シンポジウム「人文系と自然系博物館の教育連携～連携が生み出す新たな命のメッセージ～」で、こどもひかりプロジェクトの活動を発表しました。中国やタイ等のアジア諸国の博物館関係者からもさまざまな質問が寄せられました。

